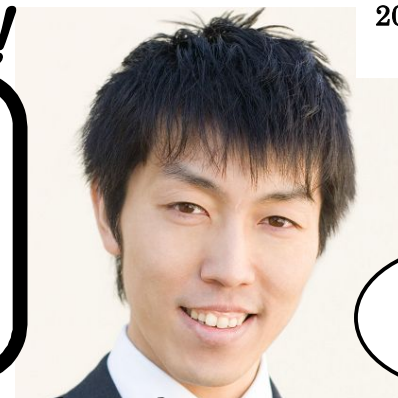


かんばら宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



27才

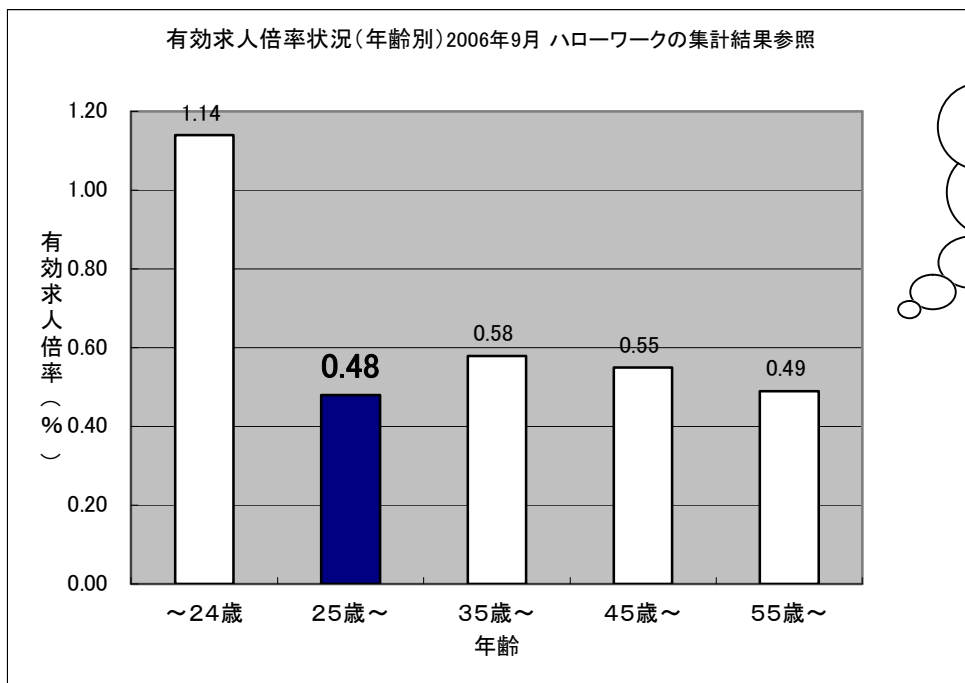
若い力で新しい政治を実現します!

●25歳～35歳が一番就職しにくいって知ってましたか?

新聞やニュースでしばしば見聞きする有効求人倍率というものですが、これは、求職者一人あたりに対して求人がどのくらいあるかという比率です。9月の段階で1.29倍であり、増加傾向にあります。単純に考えると、「あ～不況も終わって、景気が良くなってきているのかな」なんて思ってしまうかも知れませんが、とんでもないです。もっと詳しく求人倍率を年齢や職種別に調べてみると、条件によって極端に倍率が異なるのです。例えば、24歳以下の求人に関しては、ほとんどの職種で求人倍率が1倍以上になっており、比較的求職し易い環境であるかも知れません。職種によっては、20倍を超えるようなケースもあります。

ところが、年齢が25歳を超えると事務職・販売職は軒並み1倍以下です。特に事務職は0.2倍(約5人に1人の求人)にも満たないと極めて低い倍率になっています。最も驚いたのは、年齢別では、25歳から35歳までの求人倍率が最も低い0.48倍だったという事。

個人的に分析してみると、25歳から35歳の間に離職した人が、再就職する事が難しく、そのままフリーターやニートとして歳をとっていくのではないのでしょうか?可能性のある、最も活力に満ちたこの世代がこのような環境を強いられている事は深刻な事として、社会全体で早急に改善策を講じていく必要があるのではないのでしょうか?(下図 参照)



25歳以上の方の求人倍率は、まだまだ低すぎます。